

国指定史跡

# 住吉貝塚

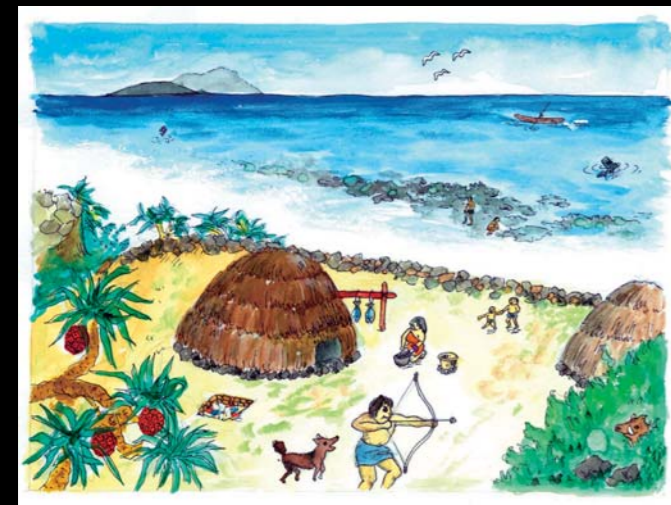


# 住吉貝塚とは？

住吉貝塚は、知名町の西側、住吉字兼久・船藏にある縄文時代後期～弥生時代初頭（約4,000年から2,000年前）の遺跡です。最初の調査が行われた昭和32年には、石組住居跡などが発見され、不明な部分が多かった奄美諸島の先史時代の一端を明らかにしました。

遺跡は標高約12m～15mの海岸段丘上にあります。目の前にはリーフが広がり、南には与論、沖縄、南西には伊平屋島を見ることができます。

知名町では平成13年から遺跡の範囲や内容を確認し、今後の保存活用に役立てるため、範囲確認調査を実施しました。調査の結果、住居跡や土器、石器、貝、骨製装飾品が多数出土し、集落の様子や自然環境がわかりました。



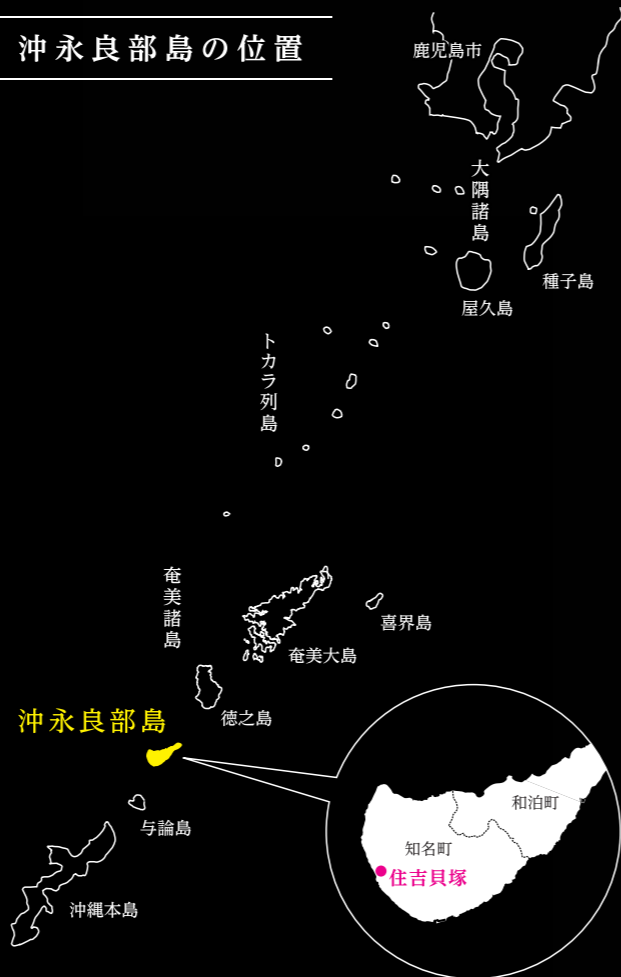
住吉貝塚の様子(想像図)

## 考古年表

時代	年代(年前)	日本の主な出来事	主な遺跡 (●県外 ■沖永良部)
旧石器	25,000	始良カルデラ大噴火	天城遺跡(伊仙町)
縄文	草創期	13,000 土器や弓矢を使い始める	
	早期	10,000 日本列島がほぼできあがる	上野原遺跡(霧島市)
		6,000 縄文海進	中甫洞穴(久志検)
	中期	5,000 火炎土器がつくられる	神野貝塚(大津勤) 三内丸山遺跡(青森県)
	後期	4,000 3,000 大きな貝塚がつくられる	志喜屋武当遺跡(住吉)
弥生	2,300	倭国大乱 この頃卑弥呼が 邪馬台国を治める	宇宿貝塚(奄美市) 石原遺跡(余多) 住吉貝塚(住吉) 浜須B遺跡(田舎) 犬布貝塚・ 喜念貝塚(伊仙町) 友留遺跡(住吉) 塔原遺跡(天城町) 吉野ヶ里遺跡(佐賀県)

※遺跡は主な時代を掲載しています。

## 沖永良部島の位置



住吉貝塚航空写真

## 用語チェック

**遺構** いこう 昔の人々が地面を掘ったりしてできた生活の跡で、竪穴住居跡などです。

**遺物** いぶつ 昔の人々が使っていたもので、土器や石器、貝製品などです。

**遺跡** いせき 遺構や遺物が発見された場所です。

## 住吉貝塚の住居跡

住吉貝塚では、これまでの発掘調査で14基の竪穴住居跡が発見され、縄文時代の終わり頃から弥生時代の初めにかけて人々が断続的に生活していたことがわかりました。住居跡はお互いの重なりや出土する土器の違いからどのような順序で作られたのかを知ることができます。

### 住吉貝塚の遺構



## 住居跡から出土した土器

時代	縄文時代			弥生時代
	後期	中期	晩期	初頭
土器型式	かたく 嘉徳I式 かたく 嘉徳II式 など	いぬたぶしき 犬田布式	うしゆくじょうそうしき 宇宿上層式	なかばるしき 仲原式

# 住吉貝塚を構成する遺構

## 竪穴住居跡 たてあなじゅうきよあと

竪穴住居跡とは、地面を円形や方形に掘り込んで床とし、木材で骨組みを作り、その上に植物で屋根を葺いた建物のことです。住吉貝塚の竪穴住居跡は、竪穴の周囲に石灰岩がないもの、周囲に石灰岩を配置するものなどいくつかの種類があり、縄文時代後期～弥生時代初頭にかけて、時間とともに形態が変化していったようです。住居跡の内部には、土が焼けた部分がみられ、火を使用した痕跡もみられます。



6号住居跡

## 土坑 どこう

土坑とは、地面に掘り込まれた穴のことで、さまざまな形や大きさがあります。住吉貝塚で土坑としているものの中には住居跡の可能性のあるものもあります。



1号土坑

## 集石 しゅうせき

集石とは石をたくさん集めて火で熱した後、葉っぱにくるんだ食材などをその中に入れて蒸し焼きにした調理施設だと考えられています。



集石

# 住吉貝塚の人々の暮らし

住吉貝塚では、住居跡の竪穴の中から貝や魚骨、動物骨、炭化した木の実など多くの遺物が出土しています。その種類、量を調べることで、当時の人々の暮らしをうかがい知ることができます。



## 環境

昔の遺跡周辺の環境は、林の中ではなく、開けた環境であったようです。海岸線は現在とほとんど同じであったと考えられます。

## 食料

住吉貝塚の人々は、主に狩りや漁、木の実の採集によって食料を得ていたようです。陸ではリュウキュウイノシシという小型のイノシシや木の実をとっていました。イヌの骨が発見されていることから狩りの友や番犬としてイヌを飼っていたことが想像されます。

海からは主に小型の魚、ウミガメ、貝などを採っています。遺跡から見つかっている小型の貝はダシとして利用されていたと考えられます。

# 住吉貝塚で発見された遺物

## 土器

縄文時代後期の土器は文様が描かれるものも多く、縄文時代晩期になるにつれ無文の土器が多くなります。土器の形も時間とともに変化しています。主に煮炊き使用する深鉢、貯蔵のための壺などがあります。



縄文時代後期の土器



縄文時代晩期の土器

## 石器

木の実や貝などを敲いたり・磨りつぶすための磨石・敲石や動物狩猟具の石鏃(やじり)、伐採のための石斧などが見つかっています。



せきぞく石鏃(やじり)



すり石・たき石、石斧

## 貝製品

貝輪(腕輪)・ペンダント・ビーズなどの装飾品があります。これらは、魔物から身を守るという考えから身につけていたのかもしれない。



貝輪(ゴホウラ・アツソデガイ・オオツタノハ)



ペンダント・ビーズ・サメ歯模造品

## 骨・牙製品

イノシシの牙や骨、サメの背骨、ジュゴンの骨を削ったり磨いたり、穴をあけたりして作られます。これらはヒモなどを通して、身につけていたのでしょう。



骨・牙製品



貝



魚骨



動物骨



木の実

## 交流

住吉貝塚からは、島外から持ち込まれたと思われるものも見つかっており、他の地域との交流を物語っています。

シカの角…角だけが見つかり、他の部分の骨が見つかりません。

黒曜石…天然のガラスの一種で割れ口が鋭く石器の材料となります。佐賀県腰岳産と考えられます。



黒曜石

貝製品…貝輪の材料となるオオツタノハなどは遺跡から加工前・加工途中のものが発見されていないため持ち込まれた可能性があります。

土器…形や文様が、鹿児島や沖縄の土器に似ているものが発見されました。昔の人々は、琉球列島を島づたいに行き来していたことが他の遺跡の調査などからも推定されています。住吉貝塚にも本土や他の島の人が立ち寄ったのかもしれない。

# 知名町の主な遺跡

はます たみな  
**浜須B遺跡(田皆)**

縄文時代後半の遺跡です。  
住居跡が5基出土しました。



ともる すみよし  
**友留遺跡(住吉)**

縄文時代終わり～弥生時代初めの遺跡です。  
遺物を含む層が良好な状態で残されており、  
住居跡が15基出土しました。



かみの おおつかん  
**神野貝塚(大津勤)**

縄文時代の遺跡です。土器は神野A～C式  
まで名前が付けられました。貝製品や炭化  
した木の実が出土しました。



とう やこも  
**スセン當貝塚(屋子母)**

古墳時代の遺跡です。  
ここから出土した土器はスセン當式と名付け  
られました。



しんじょうはなくぼ しんじょう  
**新城花窪ニヤート墓(新城)**

江戸時代に薩摩から赴任した役人、遠矢金兵衛が  
妻子のために築造したと言われています。トール  
墓の前庭入口には石門が設けられています。



なかふ くしけん  
**中甫洞穴(久志検)**

縄文時代～弥生時代を中心とした遺跡です。  
洞穴入り口付近からは、屈葬の人骨が発見  
されました。



あかみね  
**アーニマガヤトール墓(赤嶺)**

近世頃の築造と言われている。玄室入口は破風型の造りで、  
内部は三方に棚が設けられています。



いしはら あまた  
**石原遺跡(余多)**

縄文時代終わり頃の遺跡です。  
ほぼ完全に復元できる土器や多くの石器、  
貝製の装飾品が出土しました。



やじりゅうきゅうしきふんぼ やじり  
**屋者琉球式墳墓(屋者)**

中世～近世の築造と言われている。玄室は石灰岩を  
くり抜き、屋根は切妻型の構造になっています。世之主の四天王  
の一人、屋者真三郎(マサバル)の墓と言われている。



## Q&A

- Q. 知名町には遺跡が何ヶ所ありますか?**  
**A. 知名町には約80ヶ所の遺跡があります。**  
 遺跡はみんなの大切な遺産であり、  
 守っていかねばなりません。  
 遺跡は法律で保護されていて、  
 工事をする前には調査が必要です。
- Q. なぜ遺跡の場所がわかるのですか?**  
**A. 畑の耕作などにより土が掘り起こされ、  
 土器などが地表面に出てきているのでわかります。**
- Q. 住吉貝塚の出土品はどこで見ることができるのですか?**  
**A. 中央公民館で整理・保管しています。  
 歴史資料室で一部の資料を見ることができます。**